

「発達障がいに対する府民意識」に関するアンケート

SC1
必須

あなたのお住まいのエリアを教えてください。

- | | | | |
|------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|------------------------------------|
| <input type="radio"/> 1.大阪市 | <input type="radio"/> 12.茨木市 | <input type="radio"/> 23.羽曳野市 | <input type="radio"/> 34.三島郡島本町 |
| <input type="radio"/> 2.堺市 | <input type="radio"/> 13.八尾市 | <input type="radio"/> 24.門真市 | <input type="radio"/> 35.豊能郡豊能町 |
| <input type="radio"/> 3.岸和田市 | <input type="radio"/> 14.泉佐野市 | <input type="radio"/> 25.摂津市 | <input type="radio"/> 36.豊能郡能勢町 |
| <input type="radio"/> 4.豊中市 | <input type="radio"/> 15.富田林市 | <input type="radio"/> 26.高石市 | <input type="radio"/> 37.泉北郡忠岡町 |
| <input type="radio"/> 5.池田市 | <input type="radio"/> 16.寝屋川市 | <input type="radio"/> 27.藤井寺市 | <input type="radio"/> 38.泉南郡熊取町 |
| <input type="radio"/> 6.吹田市 | <input type="radio"/> 17.河内長野市 | <input type="radio"/> 28.東大阪市 | <input type="radio"/> 39.泉南郡田尻町 |
| <input type="radio"/> 7.泉大津市 | <input type="radio"/> 18.松原市 | <input type="radio"/> 29.泉南市 | <input type="radio"/> 40.泉南郡岬町 |
| <input type="radio"/> 8.高槻市 | <input type="radio"/> 19.大東市 | <input type="radio"/> 30.四條畷市 | <input type="radio"/> 41.南河内郡太子町 |
| <input type="radio"/> 9.貝塚市 | <input type="radio"/> 20.和泉市 | <input type="radio"/> 31.交野市 | <input type="radio"/> 42.南河内郡河南町 |
| <input type="radio"/> 10.守口市 | <input type="radio"/> 21.箕面市 | <input type="radio"/> 32.大阪狭山市 | <input type="radio"/> 43.南河内郡千早赤阪村 |
| <input type="radio"/> 11.枚方市 | <input type="radio"/> 22.柏原市 | <input type="radio"/> 33.阪南市 | <input type="radio"/> 44.その他 |

Q1
必須

あなたの家族構成について、あてはまるものをすべて選択してください。
(いくつでも)

- 1.未就学児の子どもがいる
- 2.小学生の子どもがいる
- 3.中学生の子どもがいる
- 4.高校生の子どもがいる
- 5.高校生以下の子どもはいない

Q2
必須

あなたは、「発達障がい」について知っていますか。

- 1.言葉も内容も知っている
- 2.聞いたことはあるが、内容はよく知らない
- 3.知らない

Q3

必須

■前問で「言葉も内容も知っている」、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」と回答された方にお伺いします■

発達障がいに関する以下の内容について、あなたが知っているものはありますか。
あてはまるものをすべて選択してください。
(いくつでも)

- 1.生まれつきの発達特性であり、親のしつけや家庭環境、ストレス等は関係ない
- 2.相互的な対人関係や、表情やしぐさから相手の感情を読み取ることなどに困難さが見られることがある
- 3.興味や行動の偏り・こだわりが見られることがある
- 4.注意欠如や多動性が見られることがある
- 5.読む、書く、計算するなど、学習に必要な能力の一部に極端な困難さが見られることがある
- 6.チック※1や吃音が見られることがある
- 7.公立小中学校の通常の学級に在籍する児童生徒のうち、
発達障がいの可能性があり特別な教育的支援を必要とすると思われる児童生徒は約6.5%を占める※2
- 8.上記の内容について知っているものはなかった

※1 本人の意思とは無関係に起こる癖のようなもの（首ふり、顔しかめ、口すぼみ、肩上げ、発声等）

※2 平成24年文部科学省より

Q4

必須

■先程、「言葉も内容も知っている」、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」と回答された方にお伺いします■

発達障がいについて、何で見聞きしたことがありますか。
あてはまるものをすべて選択してください。
(いくつでも)

- 1.テレビ、ラジオ
- 2.新聞、雑誌
- 3.インターネット
- 4.授業や講習、セミナー、シンポジウムなどのイベント
- 5.学校や職場等における発達障がい者に関する啓発・説明
- 6.官公庁からの広報物（チラシ、ポスター等）
- 7.その他団体の啓発チラシ、ポスター
- 8.家族、友人・知人から
- 9. その他：
- 10. 覚えていない

Q5
必須

■前問で「授業や講習、セミナー、シンポジウムなどのイベント」と回答された方にお伺いします■

発達障がいについてのイベントはどこで行われたものですか。
参加されたものをすべて選択してください。
(いくつでも)

- 1.学校の授業で
- 2.公的機関や地域が主催するセミナーやシンポジウム
- 3.NPO法人等、その他の団体が主催するセミナー
- 4.その他：
- 5.覚えていない

Q6
必須

それぞれの障がいについて、あなたの考え・行動にあてはまるものを、すべて選択してください。
(矢印方向にそれぞれいくつでも)

	1. どのような障がい か理解している	2. 相手にその障がい があるか判断できる	3. 相手にとっての社会的障壁 (※)をイメージできる	4. 社会的障壁を取り除くための 配慮をイメージできる	5. 実際にサポートや声掛けを 行ったことがある	6. 左記にあてはまるもの はない
1. 身体障がい	➡ <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 知的障がい	➡ <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 精神障がい	➡ <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 発達障がい	➡ <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※社会的障壁...障がいのある人を暮らしにくくするような社会にあるものすべて（段差などの物理的な障壁だけでなく、人々の習慣や考え方も含まれる）

Q7
必須

発達障がいとは、生まれつき脳の一部の機能に障がいがあるものと考えられています。相互的な対人関係を取ることや、表情やしぐさから相手の感情を読み取ることの困難さ、じっとしてられない多動性・ものごとに集中できない注意欠如、読み書き等の特定の学習能力が著しく困難、などの症状が見られます。

あなたは、これまでに発達障がいのある人と接したことがありますか。

- 1.ある
- 2.今まで見聞きした情報に基づくと、発達障がいの可能性があると感じた人と接したことがある
- 3.ない
- 4.分からない

Q8
必須

■前問で「ある」、「今まで見聞きした情報に基づくと、発達障がいの可能性があると感じた人と接したことがある」と回答された方にお伺いします■

その人とあなたとのご関係について教えてください。
(いくつでも)

- 1. (ご本人を含め) 家族、親戚、親しい友人・知人
- 2. 学校関係の人
- 3. 職場関係の人
- 4. 福祉・教育分野などで、ご自身が専門職として接している相手
- 5. 隣人、地域の住民 (1以外)
- 6. 趣味活動の仲間 (1以外)
- 7. その他

Q9
必須

■先程、「ある」、「今まで見聞きした情報に基づくと、発達障がいの可能性があると感じた人と接したことがある」と回答された方にお伺いします■

あなたはなぜ、その人が発達障がい、又はその可能性があったと思われましたか。
あてはまるものをすべて選択してください。
(いくつでも)

- 1.発達障がいの診断を受けたと本人から申し出があった
- 2.対人関係・コミュニケーションに著しく困難が見られた
- 3.興味・行動に著しい偏り・こだわりが見られた
- 4.行動に落ち着きがない様子が強く見られた
- 5.読み・書きなどの学習能力の一部に強い困難さが見られた
- 6.その他の言動、挙動に違和感を感じた
- 7. その他：
- 8.特に根拠はないが、なんとなくそう思った

Q10
必須

■先程、「ある」、「今まで見聞きした情報に基づくと、発達障がいの可能性があると感じた人と接したことがある」と回答された方にお伺いします■

あなたはこれまで、発達障がいのある人に対して以下のような行動をとった経験はありますか。
(いくつでも)

※以下の選択肢にある行動は、あくまで発達障がいのある人一人ひとりの特性に配慮した行動と考えられるものの一例です。
詳細は、大阪府ホームページに掲載しております、リーフレットをご覧ください。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/keikakusuishin/kankou/eeyan-tigattemo.html>

- 1.「いつ」、「どこで」、「何を」、「どのような方法で」と具体的な手順（説明、指示など）を含めて話す
- 2.写真や図、絵などの視覚的な情報（説明、指示など）などの手法も併せて話す
- 3.相手に無理をさせていないか日ごろから気にかけておく
- 4.相手の長所を見つけ、肯定的に話をする
- 5.適切ではない行動を指摘するときは、その理由と望ましい行動についても簡潔に説明する
- 6.このような行動はとったことがない、機会がなかった

Q11
必須

発達障がいにおける社会的障壁（障がいのある人を暮らしにくくするような社会にあるもの）は人間関係等の環境面であることが多いため、発達障がいのある人にとって暮らしやすい社会の実現には、自治体や企業のみならず個人一人ひとりの配慮ある行動が求められます。

あなたは今後、発達障がいのある人に対して次のような行動をとることができると思いますか。（矢印方向にそれぞれひとつだけ）

※ 次の項目にある行動は、あくまで発達障がいのある人一人ひとりの特性に配慮した行動と考えられるものの一例です。

詳細は、大阪府ホームページに掲載しております、リーフレットをご覧ください。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/keikakusuishin/kankou/eeyan-tigattemo.html>



	1. できると思う	2. 自身の負担にならない範囲ならできると思う	3. なかなか行動できないと思う	4. 分からない
1. 「いつ」、「どこで」、「何を」、 「どのような方法で」と具体的な手順（説明、指示など）を含めて話す	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 写真や図、絵などの視覚的な情報（説明、指示など）などの手法も併せて話す	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 相手に無理をさせていないか日ごろから気にかけておく	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 相手の長所を見つけ、肯定的に話をする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 適切ではない行動を指摘するときは、 その理由と望ましい行動についても簡潔に説明する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q12
必須

これまでの経験や前問を踏まえてご回答ください。
あなたは今後、発達障がいのある人やその可能性があると思われる人と接する際に、その人の特性に応じて、配慮ある行動をとることができると思いますか。

- 1. 行動できると思う
- 2. 自身の負担にならない範囲なら行動できると思う
- 3. なかなか行動できない（あまり関わらないようにする）と思う
- 4. 分からない

Q13 必須 今後あなたが、発達障がいのある一人ひとりの特性に応じた配慮ある行動を求められるとき、不安に感じることはありますか。
あてはまるものをすべて選択してください。
(いくつでも)

- 1.発達障がいかどうか分からない中で配慮ある行動はとれない
- 2.相手にとって何が配慮のある行動か分からない
- 3.相手にとって過度な配慮（お節介）になるような気がする
- 4.一人ひとりの特性を考える以前に、発達障がいのある人に対する配慮のある行動自体がイメージできない
- 5.1つ1つの行動が配慮あるものかどうか判断していくことがしんどい
- 6.その他：
- 7.特に不安は感じない

Q14 必須 障がいのある人が不便を感じることなく日常生活を送るためには、社会の協力が不可欠です。障がいのある人に対して、負担になり過ぎない範囲でそれらの不便を取り除くためにとるべき行動を「合理的配慮」と言いますが、あなたはこの「合理的配慮」について知っていましたか。

- 1.言葉も内容も知っていた
- 2.聞いたことはあるが、内容はよく知らなかった
- 3.知らなかった

Q15 必須 障がいを理由とした不当な扱いをなくすためには「合理的配慮※」の実践が求められる、という考え方に対して、あなたの考えに最も近いものを選択してください。

※合理的配慮とは、障がいのある人が困っているときに、その人の障がいに合った必要な工夫ややり方を相手に伝えてそれを相手にしてもらうことを言います。
例) 聴覚障がいのある人に書類と手話で説明する。
視覚障がいのある人に文書を読み上げるとともに点字の資料も併せて渡す。
ただし、合理的配慮のために、例えば、お金がかかりすぎたりすることもあります。
その場合、他の工夫ややり方を考えることとなります。

- 1.共感できる
- 2.ある程度は共感できる
- 3.あまり共感できない
- 4.共感できない
- 5.分からない、どちらとも言えない

Q16 学校や職場、地域などを含め社会全体として、発達障がいのある人にとって暮らしやすい環境
必須 になっていると思いますか。

- 1. そう思う
- 2. ある程度はそう思う
- 3. あまりそう思わない
- 4. そう思わない
- 5. 分からない、どちらとも言えない

Q17 平成19年12月、国連総会において4月2日を「世界自閉症啓発デー」とする決議が採択されました。
必須 また、厚生労働省では、この日から8日までを「発達障がい啓発週間」と位置付け、自閉症をはじめとする発達障がいへの理解促進のための啓発活動を行っております。
あなたは、この「世界自閉症啓発デー」及び「発達障がい啓発週間」があることを知っていましたか。

- 1. どちらとも知っていた
- 2. 「世界自閉症啓発デー」のみ知っていた
- 3. 「発達障がい啓発週間」のみ知っていた
- 4. どちらとも知らない